

リスク評価(一次)評価Iで用いた物理化学的性状・分解性・生物濃縮性等のデータ

資料3-3

(平成25年7月18日)

Table with 26 columns: 通し番号, 名称, リスク評価1対象, 分善 (分解性, 蓄積性BCF, 濃縮性データの信頼性), CAS番号*2, 物理化学的性状 (融点, 沸点, 蒸気圧, 水溶解度, logPow, Koc, ヘンリー係数, 分子量), 信頼性ランク. Rows contain various chemical substances like 二硫化炭素, ヒドラジン, n-ヘキササン, etc.

*1 灰色塗り潰しの物質は製造・輸出入数量の合計値が10t以下のため、リスク評価I対象外(通し番号88)又はリスク評価Iの対象として排出量を推計したところ、全国合計排出量が10t以下のため、リスク推計対象外。
*2 暴露評価に用いた物理化学的性状に対応するCAS番号。
*3 値は公表されている「化学法における物理化学的性状・分解性・生物濃縮性データの信頼性評価等について」に基づき選定され、評価IIにおいて今後精査される予定のものである。
*4 優先評価物質の指定根拠となった分善・有害性データとの整合性に応じ、暴露評価には変化物の二硫化炭素の物理化学的性状データを用いた。ただし、排出量推計には親化合物の蒸気圧(2.5E+10Pa、信頼性ランク4)及び水溶解度(9.3E+05mg/L、信頼性ランク4)を用いた。
*5 リスク評価(一次)評価Iで用いた物理化学的性状・分解性・生物濃縮性等のデータにおいては、今回新たに精査した値を用いた。